

2019年3月22日

株式会社 山陰合同銀行

『とっとり大学発・産学連携ファンド』第4号案件決定

～創薬ベンチャー「株式会社エボルブ・バイオセラピューティクス」～

山陰合同銀行（頭取 石丸 文男）では、鳥取大学発のベンチャービジネスを、資金と経営の両面でサポートする目的で設立した「とっとり大学発・産学連携ファンド」の第4号案件として、ベンチャー企業「株式会社エボルブ・バイオセラピューティクス（代表取締役社長 中村 貴史）」（以下「当社」）に対し、1億8千万円を出資することを決定しました。

つきましては、2019年3月26日に、鳥取大学医学部附属病院において下記の通り記者会見を行うこととなりましたのでお知らせします。

当社は、ウイルスを用いてがん細胞を特異的に溶解破壊し、かつ、がん細胞に対する免疫力を活性化する今までに無い画期的な、がん治療薬の開発を米子の地から目指します。

これからも当行は、新たなビジネスに挑戦する大学発ベンチャーを支援し、地域における新産業の創造、雇用の創出による地域経済の発展・活性化に注力してまいります。

記

【記者会見】

| | | | |
|----------------|---------------------------------|---------|-------|
| 日 時 | 2019年3月26日（火） 11:00～12:30 | | |
| 会 場 | 鳥取大学医学部附属病院 会議室3 （鳥取県米子市西町36-1） | | |
| 出席予定者 （敬称略） | 株式会社 エボルブ・バイオセラピューティクス | 代表取締役社長 | 中村 貴史 |
| | 国立大学法人 鳥取大学 | 医学部長 | 廣岡 保明 |
| | 株式会社 地域経済活性化支援機構 | 代表取締役専務 | 渡邊 准 |
| | 株式会社 山陰合同銀行 | 常務執行役員 | 尾原 司 |

【出資先の概要】

| | |
|---------|---|
| 商 号 | 株式会社 エボルブ・バイオセラピューティクス |
| 所 在 地 | 鳥取県米子市西町86（鳥取大学医学部内） |
| 代 表 者 | 代表取締役社長 中村 貴史（鳥取大学 大学院医学系研究科 准教授） |
| 設 立 | 2019年2月14日 |
| 事 業 内 容 | 中村准教授の研究シーズを活用したウイルスを用いた、がん治療薬・研究試薬の研究開発・製造・販売。 |

【ファンドの概要】

| | |
|---------------|---|
| 名 称 | とっとり大学発・産学連携ファンド |
| 投資対象 | ①鳥取大学の研究シーズを基にした起業 ②鳥取大学の研究シーズを技術移転し事業化を図る既存企業 |
| 出 資 者 | 山陰合同銀行 ごうぎんキャピタル REVIC キャピタル |
| ファンド 運 営 者 | REVIC キャピタル ごうぎんキャピタル |
| 設 立 日 | 2015年1月1日 |
| ファンド期限 | 2022年6月30日 |

以 上